

授業科目名： 英語学概論Ⅰ	教員の免許状取得のため の必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：古庄 信 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・ 英語学		
「学位授与の方針」との関係 星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。 A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。 B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。 D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。 E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
・ 中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につける。 ・ 英語の歴史的発達過程、音や、語、文の構造について理解する。			
授業の概要			
英語学概論Ⅰでは、英語学を学ぶ意義とその内容について把握したうえで、テキストに沿って、英語という言葉がいつ、どこで、どのように歴史上出現し、どのような過程を経て今日の国際語としての地位を築いたか（英語史）、またその言語的特徴（統語論）や発話のメカニズム（音声学）などについて学ぶ。さらに英語学の諸分野における研究内容の特徴や各分野との関連を考察すると同時に、言語としての世界における使用状況などについても把握する。			
授業計画			
第1回：英語学を学ぶ意義とその内容（テキスト p. 3）			
第2回：英語史・英語前史～比較言語学と印欧祖語の発見（テキスト p. 3～p. 6）			
第3回：英語史・ゲルマン民族の移動と英語の始まり（テキスト p. 8～p. 9）			
第4回：英語史・英語の時代区分 OE～PE（テキスト p. 10）			
第5回：英語史・古英語 OE・その言語的特徴と現代英語との違い（テキスト p. 11～p. 18）			
第6回：英語史・中英語 ME・OE から ME へ：何がどう変化したか（テキスト p. 19～p. 23）			
第7回：英語史・中英語 ME・Chaucer にみる ME の言語的特徴（テキスト p. 24～p. 28）			
第8回：英語史・初期近代英語 EModE そのⅠ：ME から EModE へ：何がどう変化したか			

(テキスト p. 29～p. 33)

第 9 回：英語史・初期近代英語 EModE その 2：Shakespeare にみる EModE の言語的特徴；
GVS(大母音推移)について (テキスト p. 33～p. 37)

第 10 回：英語史・初期近代英語 EModE その 3：A.V. にみる EModE の言語的特徴
(テキスト p. 37～p. 39)

第 11 回：英語史・英語圏の拡大：イギリス英語とアメリカ英語 (テキスト p. 39～p. 44)

第 12 回：カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの英語 (テキスト p. 45～p. 50)

第 13 回：現代イギリス英語～世界の英語 (テキスト p. 50～p. 54)

第 14 回：英語学の先駆者～英語学の諸分野 (テキスト p. 55～p. 68)

第 15 回：英語辞書・参考書・その他の情報について (テキスト p. 68～p. 87)

定期試験

*スクーリングでは英語史における重要項目を中心に、現代英語がなぜどのように今日の形態を持つに至ったかを解説する。

教科書

古庄 信著 『英語学ハンドブック』(改訂版)、2021 年

参考書・参考資料等

- ・ *The English Language*, David Crystal 著, Cambridge University Press, 1988.
- ・ *A Comprehensive Grammar of the English Language*, Quirk, R., Greenbaum, S., Leech, G. & Svartvik, J. Longman, 1985.
- ・ *The Story of English*, R. McCrum, W. Cran, R. MacNeil, BBC Publications, 1986
- ・ 『英語史・歴史英語学』(英語学文献解題 第3巻) 大泉昭夫著 研究社 1997.
- ・ 『英語発達史』中尾俊夫著 篠崎書林 1979.
- ・ 『英語の歴史から考える英文法の「なぜ」』朝尾幸次郎著 大修館書店, 2019.
- ・ 『シェイクスピアの英語』G. L. Brook 著, 三輪伸春他訳 松柏社 1998.
- ・ 『シェイクスピアは三度がお好き?!-沙翁と聖書に見る反復表現』古庄信著 英宝社 2021.

学生に対する評価

スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)を総合して評価する。